

## BCP 取組事例の提供の方向性

### 1. 提供する情報

- 提供する事例は、概要的・表面的な情報ではなく、新たに策定しようとしている企業や内容の充実を図ろうとする企業が参考とできるような、実際に企業が作成したマニュアル（規程、手順書など）・フォーマット（各種記入様式）などを提供することを目指す。
- 企業秘密の部分も多いため、企業がどの程度の情報を提供してくれるかは懸念があり、どのようなルートで情報を収集することが効果的かを検討する。可能な限り実際に企業が作成したマニュアル・フォーマットなどの情報を集めることを目指す。
- 情報収集の方法は、募集をかけて待つというスタイルではなく、内閣府側から積極的にヒアリングをかけていくことを行う。ヒアリングの対象は検討を行う。
- BCP を細分化したテーマごと（BIA の実施、重要業務の選定、目標復旧時間・目標復旧レベルの設定など）に情報を収集・提供を行う。
- 企業から提供された情報を、適切に編集する必要がある。
- 同一の業種・規模の企業の事例は取りまとめて、業種・規模に標準的なものに加工して提供することを工夫する。
- 事例は、必ずしもベストプラクティスでなくても良く、業界の標準的な取組みでも問題ないとも考えられる。

### 2. 事例情報提供の進め方

- 事例提供は、本年度から着手し、例えば三年程度の計画で進める。
- 業種ごとに可能なところから順次着手していく。
- 情報提供をしてもらう企業に対するメリット（表彰制度など）を検討することも重要だが、そこから考えると仕組みの整備に時間がかかると考えられるため、まずは早期の立上げを優先する。
- 内閣府のホームページから情報提供を行う。
- 事業者団体の協力を得ることも必要となると考えられる。

### 3. 事例提供のイメージ

#### 【事例一覧】

業種	企業規模			その他
	大企業	中堅企業	中小企業	
製造業	A社（匿名）	【個別の事例紹介】にリンク		D 組合 □□組合（組織名公開）
	B社（匿名）			
	〇〇社（社名公開）			
建設業	C社（匿名）			
	△△社（社名公開）			
電気・ガス・熱供給業・水道業				
情報通信業				
・・・				
・・・				

#### 【個別の事例紹介】

- ・ 細分化したテーマごとに事例情報を提供する。

#### 【テーマの例】

- － 事業環境
- － 取組の概要
- － 基本方針
- － 想定リスク・被害想定
- － 組織・体制
- － 影響度分析（BIA）やその考え方
- － 重要業務やその選定の考え方
- － 目標復旧時間・目標復旧レベルやその設定の考え方
- － 重要業務の継続のための具体的な対策
- － 教育・訓練
- － 他企業・地域との連携内容

- ・ 実際に企業が作成したマニュアル・フォーマットなどを掲載する。  
（当然のことながら、外部に公開できない情報に関しては、該当箇所にマスキングなどの処置を行う）